

特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会公認

楊名時八段錦・太極拳
神奈川県支部

洪太極

師家・楊名時先生 揮毫

第44号

発行人 神奈川県支部 支部長 久保田 博子
編集人 神奈川県支部 理事 結城 靖博

2024年2月10日発行

年頭の御挨拶 大宇宙の中の自分

神奈川県支部長 久保田 博子



第 21 回支部交流・研修会にて新しい横断幕について語る久保田支部長（撮影：中島幹夫）

あの暑い夏が過ぎ、爽やかな風を感じる秋を経て、木々の葉が風に舞う冬がやってきました。当たり前の変化の中に、1月の声を聞くとどこか、春を求め未来への希望を願ってしまいます。不思議ですね。同じようで少しずつ異なる自然界に当たり前前に生きているのです。

私が太極拳に出会い一番の魅力を感じたのは、十字手。初めての自分なのに無になれる。日々あくせくと生きている毎日なのに一瞬のうちに無になる。

師家の「大宇宙の中の小さな自分という小宇宙」という言葉も大好きです。自分という存在、それぞれの周りの人たちもみんな小宇宙だと思えば自然と謙虚になれます。二十四式が終わり現実の私自身に戻り無になったおかげで現実の生活に向かい合い、不思議なほど意欲的になれる。その感覚に嬉しくなり、そのおかげで、どっぴりと太極拳にはまり、数十年が過ぎているのです。

皆さんは、いかがでしょうか？

それぞれの太極拳の中にそれぞれの宇宙があるのでしょね。毎回、楊慧先生の十字手を見るたびにうっとりします。楊進先生の十字手は、広く大きく背中その後ろから手が伸びている感じで力強いです。教室で、初伝や中伝の審査をするときのそれぞれの方の集中した姿にも惚れ惚れします。坐禅で心を新たにするほどではないにしても、一瞬にその境地に入ることができるのです。

今年度の県支部の行事は、2月の楊進先生の規範教程勉強会ですべて終わります。来年度は、南関東ブロック大会の当番支部となっています。

皆様とお会いし、十字手で不思議な静寂に包まれる瞬間を楽しみたいと思います。